

**JASDAQ**

2019年11月11日

各 位

会 社 名 システムズ・デザイン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 隈元 裕  
(コード：3766、東証 JASDAQ)  
問合せ先 取 締 役 岡本 芳明  
電 話 03-5300-7800

**営業損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月13日に公表した2020年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,293	227	232	121	34.87
今回修正予想 (B)	8,092	△385	△368	△295	△84.43
増減額 (B-A)	△1,201	△613	△600	△417	—
増減率 (%)	△12.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	9,084	39	51	105	30.15

## 2. 2020年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,733	109	68	19.73
今回修正予想 (B)	5,721	△406	△289	△82.89
増減額 (B-A)	△1,011	△516	△358	—
増減率 (%)	△15.0	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	6,481	84	173	49.53

### 3. 修正の理由

#### ・2020年3月期通期連結業績予想数値の修正

2020年3月期において、当社グループでは継続案件や新規案件の受注確保、投資活動、その他諸施策を行ってまいりました。

しかしながら、売上高につきましては、システム開発事業において不採算案件の収束に向けて注力したため、人員の十分な確保ができず、案件の受注が伸び悩んだこと、大型案件が目論見通り開始できず来期以降の受注予定となり、当初の予想より減少となる見通しであります。

利益面につきましては、上記の売上減少要因の影響に加え、システム開発事業において不採算案件の収束を図るために、売上原価に受注損失255百万円を追加計上したこと、アウトソーシング事業においても、一部子会社の業績が低調に推移したことによる影響があり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が当初の予想を下回る見通しとなりました。

#### ・2020年3月期通期個別業績予想数値の修正

個別業績予想につきましては、システム開発事業における連結業績予想の修正と同様の理由により修正しております。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な不確定要因により、記載の数値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

### 4. 配当予想について

当初予想値との大幅な乖離により、上場以来初となる、通期赤字決算の見込みを発表することとなり、ステークホルダーの皆様にご心配をおかけすることとなりまして、心よりお詫び申し上げます。なお、当期末の配当については、安定配当の維持を基本方針としていることから、1株当たり普通配当13円の実施を維持する予定であります。

今後は、不採算案件の抑制を目的とする体制の強化を図るとともに、更なる経費圧縮に努めて堅実な経営を実施していく所存でございます。

以 上